

IR活動の取り組み

個人投資家向け決算説明会を本社にて定期的を開催
当社は、個人株主をはじめ、個人投資家を対象とした第2四半期決算、本決算説明会を本社にて開催しております。開催日は原則として同決算発表日の3営業日後を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

詳細につきましては、下記の広報・IR室にメールまたは電話にてお問合せください。



個人投資家向け決算説明会（本社にて開催）

2009年5月中旬 18:30 開催予定

他社主催個人投資家向け説明会参加予定イベント

2008年12月 6日（土）モーニングスター／株式新聞主催 福岡

問合せ先 広報・IR室

T E L 03-5297-3066

メール irquery@cybernet.co.jp

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

<http://www.cybernet.co.jp/>

第24期 第2四半期報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

CONTENTS

- 01 トップメッセージ
- 04 IRトピックス
- 05 ビジネスナビ
- 07 第2四半期連結財務諸表
- 09 会社データ

“ものづくり支援”を軸に高度化するCAE需要に応えながら新たな分野の開拓と海外展開を強化しマーケットの拡大に取り組んでまいりました。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは“ものづくり支援におけるワンストップソリューションを提供する企業”をビジョンとして掲げ、日々技術革新に挑まれている製造業のお客様をCAEソリューションおよびITソリューションの提供によりご支援しております。おかげさまで当社グループは、当第2四半期においても、売上高は、計画を若干下回ったものの、営業利益、経常利益、純利益に関しては、計画を上回ることができました。2009年3月期の目標である、売上高230億円、経常利益32億70百万円、当期純利益19億70百万円の達成に向け、グループ一丸となって業容の拡大に努めてまいります。株主の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 田中 邦明

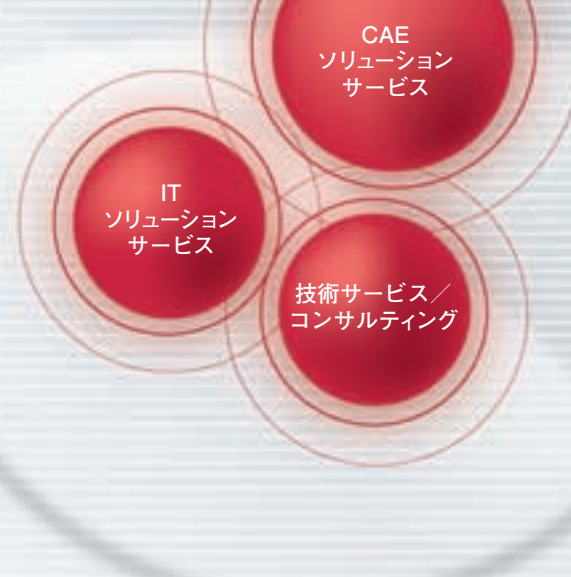
LSI設計分野への新規商品群の投入、および台湾での合弁会社設立など新たなマーケットの拡大に努めました。

電気・電子分野におけるCAEソリューションでは、現在、高機能のエレクトロニクス製品を作るため、高密度化や設計の効率化などを可能とするEDA(Electronic Design Automation)ソリューションが必要とされています。当社では当第2四半期におきまして、この分野で新たな需要を掘り起こすべくLSI設計向け商品の取扱いをスタートさせました。これらは新たな手法による開発期間の大幅な短縮やこれまでにない検証機能を発揮するもので、業界で今注目されている商品群です。また、当社では新中期経営計画で海外事業展開のスピードアップを掲げておりますが、CAEビジネスを展開している台湾企業との合弁により、7月に現地にて新会社を設立いたしました。すでにCAEビジネス

を行っている企業との提携となり、早期に事業が軌道に乗るものと考えています。

成長性の高い次期主力商品への注力とCAEビジネスにおける新しいサービスを展開し、事業基盤のさらなる強化に努めてまいります。

CAEの分野では、新製品の高機能・多機能化などを背景として、複合解析の需要が拡大しています。当社の主力商品であるANSYS(アンシス)は、構造、振動、伝熱、電磁場、圧電、熱流体、衝突落下など物理的な解析が可能だけでなく、これらを組み合わせた連成問題の解析に優れた機能を発揮します。今後も成長性の高い主力商品として売上の拡大に注力してまいります。また、サービスビジネスの強化策の柱としてMATLAB(マットラブ)のプログラミングサービスならびにプログラミング検証サービスを中心にコンサルティング、受託解析・受託開発業務を推進していく予



CYBERNET

定です。これは当社が20年に亘ってMATLABの販売と導入支援・技術サポートを行ってきた実績により、自動車産業を中心に強いニーズがあり、それに応えていくものです。

「CAEユニバーシティ」は設立して一年になりますが、顧客企業から自社向けにカスタマイズされた教育プログラムを提供して欲しいというお声を頂戴しており、今後、当社では積極的にその対応を図り業務拡大に努めていく予定です。

海外のソフトウェア開発元ならびにMATLABの国内コンサルティング企業を対象としたM&A戦略を検討しております。

当社は、資金を有効に活用し業容を拡大するM&Aについて前向きに取り組んでいきたいと考えています。新中期経営計画で自社開発製品とサービスビジネスの強化を掲げておりますが、この路線に沿ってCAE関連のソフトウェアを開発する海外企業ならびにMATLABのプログ

ラミングを受託する国内のコンサルティング会社等をM&Aの対象とする方向性を打ち出しています。いずれもビジネスへの取り組みの面で共鳴できるものを持ち、小規模でも優れた技術と人材を有する企業があれば検討していく考えております。

厳しい経済状況のなかでもCAEソリューションサービスのニーズは底堅く、収益面では計画値をクリアしました。

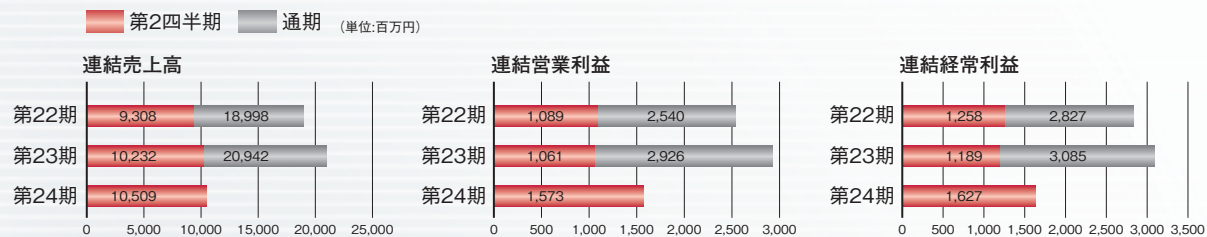
当第2四半期におきましては、世界的に厳しい景況感のなか、国内においても企業収益の減少、輸出・生産の弱含みなど景気の失速懸念が強まりました。厳しい企業環境ではありましたが、当社グループの売上高は105億9百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益15億73百万円(前年同期比48.3%増)、経常利益16億27百万円(前年同期比36.8%増)、当四半期純利益8億66百万円(前年同期比34.0%増)と前年同期比プラスの業績となりました。

CAEソリューションサービスにつきましては、製品開発におけるコスト削減と開発期間の短縮、試作・実験回数への低減による環境面への配慮などをニーズとして堅調に推移しております。一部、円高により輸出関連企業で予算統制の動きが見られたものの、制御・通信・数値系では大口案件を含む新規ライセンスが伸び悩む中、自動車およ

び電機メーカーをはじめとする既存顧客の保守契約更新収入に支えられ、販売が堅調に推移しました。機械系は、関東エリアを中心とした大型案件の受注により、販売が好調に推移しました。また、光学系では光学設計・照明解析ソフトウェアの好調な販売が貢献しました。エレクトロニクス系は苦戦を強いられていますが、LSI設計分野の有力ソフトウェアの販売代理店権を獲得し事業領域の拡大を図っております。以上の結果、当事業の売上高は95億78百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は26億2百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

ITソリューションサービスにつきましては、自社開発の内部統制リスク管理システムの需要拡大に期待しておりましたが、当初予想を大幅に下回りました。一方、昨年よりサービスを開始したSaaS(※1)形態のモバイルNAC(※2)ソリューションは順調に推移しております。今後は、グループ内の効率的な営業体制と技術連携を徹底させるとともにサーバーマネージメントをサポートする新商品の導入等も検討してまいります。当事業の売上高は9億31百万円(前年同期比22.0%減)、営業損失は1億20百万円(前年同期は営業利益70百万円)となりました。

※1 SaaS(Software as a Service):ネットワークを通じて顧客にアプリケーションソフトの機能が必要に応じて提供する仕組み
 ※2 NAC(Network Admission Control):ネットワークアーキテクチャの一種で、ネットワーク上の端末の中からセキュリティ上好ましくない端末を識別し、自動的にネットワークから排除する技術



IR TOPICS IRトピックス

LSI分野の強化拡大を推進 ブルースペック社、ダフカ社と販売総代理店契約を締結

当社は、Bluespec, Inc. (本社：米国マサチューセッツ州) と日本における販売総代理店契約を締結し、2008年5月8日より同社が開発したBluespec SystemVerilog製品ラインを含む全ての製品の販売を開始しました。これにより開発期間を、従来の半分以上に低減できるEDA(電子自動設計)ツールセットの提供が可能となります。また、DAFCA, Inc. (本社：米国

マサチューセッツ州) と日本における販売総代理店契約を締結し、2008年6月5日より同社が開発したClearBlue製品ラインの販売を開始しました。設計検証ソリューションに優れた同製品により、生産性の向上と総合的なコスト削減が可能となります。当社ではLSI分野の強化拡大を今後も推進してまいります。

「Phoenix 21」海外戦略の一環として 台湾に合併会社を設立

当社は、台湾の鈦思科技股份有限公司(本社：台湾 台北市、以下「鈦思科技」と)の共同出資により、台湾におけるCAEソフトウェアの販売、および技術サービスの提供を事業目的とする合併会社を設立いたしました。新会社では、当社が日本で販売実績をもつ光学系、電気・電子系を中心に制御系、数式処理系等のCAEソリューションサービスを展開してまいります。3年後の売上高を約5億円と見込んでいます。



新会社の概要
 商号：思渤科技股份有限公司
 (英文名：Cybernet Systems Taiwan Co., Ltd.)
 代表者名：董事長 加莉 政猛(当社執行役員)
 本店所在地：台湾 新竹市
 設立年月日：平成20年7月16日
 出資比率：当社 57% 鈦思科技 43%

MATLABパートナープロダクトの拡大施策として、 欧州の開発元3社と販売代理店契約を締結

2008年6月、当社はSDTools社(本社：フランス・パリ)が開発・販売・サポートする有限要素法解析・振動解析ツールStructural Dynamics Toolbox/FEMLinkの日本国内の販売代理店契約を締結。7月には、ANYBODY Technology社(本社：デンマーク・オールボー)が開発・販売・サポートする筋骨格モデルシミュレーションシステム AnyBody™ Modeling Systemの日本国内の販売

代理店契約を締結。さらに9月、EUtech社(本社：ドイツ・アーヘン市)と日本国内における販売代理店契約を締結し、同社が開発した燃料電池システムのモデリングおよびシミュレーション用ライブラリ「FClib」の販売を開始いたしました。今後も、MATLABパートナープロダクトの取扱いを拡大しながら、当社開拓のユーザーに向けたビジネスを積極的に展開してまいります。

● **当社が展開する機械・精密分野における
主力ソフトウェアANSYS(アンシス)をご紹介します。**

世界中の企業や研究機関、大学に導入されている
トップクラスのCAEブランドANSYS

ANSYSは、構造・振動・伝熱・電磁場・圧電・熱流体・衝突落下などの物理現象を解析することが可能であり、さらにこれらを組み合わせた連成問題を解くことができる有限要素法解析ソフトウェアです。当社では、開発元である米国ANSYS社とのパートナーシップに基づいて、ANSYSの国内における販売および技術サポート、ユーザー教育などを展開しています。

ANSYS利用分野	主な解析領域	主な目的
自動車・輸送機器	構造 振動 これらを組み合わせた連成問題 伝熱 電磁場 熱流体 衝突落下 圧電	試作コストの削減
電気・電子機器		開発期間の短縮
機械・精密機器		原子力、宇宙環境など実験できない環境での模擬シミュレーション
建築・土木		トラブル対策のための原因分析・解析
エネルギー		
医療福祉		
教育研究機関		
その他		

産業界の進歩・発展に不可欠のCAEブランド

ANSYS, Inc. 会社概要

米国ANSYS, Inc. (アンシス社) は、1970年にSwanson Analysis Systems社として設立され、航空宇宙、自動車、機械、電機、電子、医療工学など幅広い産業の製品開発に携わるエンジニアや設計者のためのシミュレーションソフトウェアを開発、全世界へと提供してまいりました。そして、設計の初期段階から試作実験と最終評価までの段階において、高速かつ効果的な製品開発を行えるように、オープンで柔軟性の高いソリューションを開発し続けています。

ANSYS解析事例

最先端の技術が求められる世界で、さまざまな解析能力を発揮

ANSYSは、自動車、機械・精密、電気・電子、エネルギー、建築・土木、医療福祉など幅広い分野で活用されています。今回はその中からごく一部の事例をご紹介します。

747型機金属部品における破壊の検査

Boeing社は、ボーイング747型機に関するメンテナンス問題を解決するために、ANSYSの非線形機能および破壊力学機能を利用しました。



胴体のへこみから亀裂に至る経緯のシミュレーション

食品加工用コンベヤーシステム開発

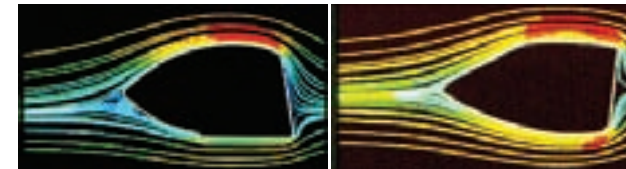
FMC社の包装・資材管理事業部(米国・ペンシルベニア州)は、食品加工用の振動コンベヤーシステム開発にANSYSを活用しました。



設計の初期段階からANSYSで80種類以上の解析を実行

ゴルフクラブの流体解析

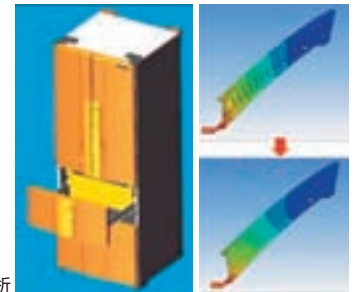
Wilson Sporting Goods社が開発製造するゴルフクラブの優れた空気力学特性は、ANSYSの流体解析データによって証明されました。



ゴルフクラブ周辺での空気の流れをシミュレーション

家庭用冷蔵庫の強度解析

パナソニックグループでは、冷蔵庫の設計において3次元CADと連携がとれ、しかも簡単に操作できる解析ソフトウェアとしてANSYSを導入しました。



ドアフレーム部品の補強を検討するための解析

「全国高専ロボットコンテスト」出場チームにも貢献

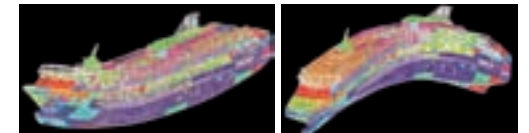
高専ロボットコンテストで準優勝した東京都立航空工業高等専門学校では、ロボットの上部につくアームの解析にANSYSを活用しました。



アームがラックによって押し出された時、どの程度たわむのかを検証

豪華客船の設計と建造における解析

ドイツのMeyer造船は、安全性を第一とした厳密な設計と生産性というミッションを遂行するためにANSYSを導入しました。



大波が船体構造に及ぼす影響を解析

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2007年9月期 (2007年9月30日現在)	2008年9月期 (2008年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	11,371	10,704
固定資産	3,805	5,660
資産合計	15,176	16,365
負債の部		
流動負債	4,158	4,357
固定負債	478	536
負債合計	4,636	4,893
純資産の部		
株主資本	10,443	11,777
純資産合計	10,540	11,472
負債純資産合計	15,176	16,365

■連結株主資本等変動計算書（自2008年4月1日 至2008年9月30日）

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
2008年3月31日残高	995	909	10,129	△818	11,215	△125	△123	△248	—	10,966
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△343		△343					△343
四半期純利益			866		866					866
自己株式の処分			△46	85	38					38
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額（純額）						△152	96	△56	—	△56
四半期連結会計期間中の変動額合計	—	—	476	85	562	△152	96	△56	—	505
2008年9月30日残高	995	909	10,606	△732	11,777	△277	△27	△304	—	11,472

■連結損益計算書

(単位：百万円)

	2007年9月期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	2008年9月期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
売上高	10,232	10,509
売上原価	6,288	6,056
売上総利益	3,944	4,453
販売費及び一般管理費	2,882	2,879
営業利益	1,061	1,573
営業外収益	128	82
営業外費用	0	28
経常利益	1,189	1,627
特別利益	—	—
特別損失	142	3
税金等調整前四半期純利益	1,046	1,624
法人税、住民税及び事業税	414	784
法人税等調整額	△14	△27
少数株主損失	0	—
四半期純利益	646	866

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2007年9月期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	2008年9月期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	333	1,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	△519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279	△303
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6
現金及び現金同等物の増加額	74	280
現金及び現金同等物の期首残高	2,018	2,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,092	2,803

会社概要

【商号】サイバネットシステム株式会社
Cybernet Systems Co.,Ltd.
【証券コード】4312
【本社所在地】東京都千代田区神田練堀町3番地
【設立】1985年(昭和60年)4月17日
【資本金】9億9,500万円
【事業内容】
制御設計、構造解析、光学設計、照明解析、電子回路設計、熱流体解析、機構解析、音響解析、プリ・ポスト処理、数式処理、シミュレーション言語、通信等、多岐にわたる世界一流のCAEソフトウェアおよびイノベーション支援ソフトウェアならびにITソリューション関連ソフトウェアの販売各種セミナーをはじめとするユーザー教育、技術サポートおよび受託解析・コンサルティング等のプロフェッショナルサービスの提供、ならびにインターフェース、モデルおよび解析モジュール等の開発
【子会社】
連結子会社
株式会社ケイ・ジー・ティー
所在地:東京都新宿区
事業内容:
科学技術計算分野への可視化ソフトウェア、医用画像処理ソフトウェア、ネットワークセキュリティソフトウェア、内部統制管理システムの開発・販売と運用に関するコンサルティング
株式会社プラメディア
所在地:東京都中野区
事業内容:
樹脂流動解析、成形解析ソフトウェアの開発・販売、受託研究、高分子材料の物性、成形性に関わる研究開発、ソフトウェア開発、技術サポート、解析コンサルティング、技術者教育
非連結子会社
西希安工程模倣軟件(上海)有限公司(略称:CCA)
所在地:中華人民共和国上海市
事業内容:
中国におけるCAE教育、受託解析、コンサルティング、プロダクト販売を含めたCAEトータルソリューション提供
莎益博設計系統商貿(上海)有限公司(略称:CCS)
所在地:中華人民共和国上海市
事業内容:
中国におけるEDAおよび光学ソフトウェアの販売、サポート、教育、コンサルティング、受託設計等

思勃科技股份有限公司(略称:CST)
所在地:台湾 新竹市公道五路二段178號5樓
事業の内容:
台湾における光学系、電気・電子系ソフトウェアを中心に制御系、数式処理系等のCAEトータルソリューション提供

役員

代表取締役社長 田中 邦明 取締役 加藤 浩(非常勤)
専務取締役 三平 久悦 常勤監査役 野村 吉晴
常務取締役 高橋 宏 監査役 立田 三彦
取締役 溝口 陽一 監査役 中島 俊吉
取締役 重光 貴明

ホームページのご紹介

当社のホームページにてより詳しいIR情報をご覧ください。



URL <http://www.cybernet.co.jp/>

個人投資家向けのメールサービスを実施しています。こちらへ登録いただきますと、東京証券取引所に対して適時開示した会社情報やIR活動案内等をインターネット・メールにて随時お知らせいたします。
https://www.cybernet.co.jp/forms/ir_mail/

株式の状況

発行可能株式総数.....1,296,000株
発行済株式の総数.....324,000株
株主数.....8,904名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
富士ソフト株式会社	168,075	51.88
ビービーエイチ フォーフィデリティー ロープライスストックファンド	15,715	4.85
サイバネットシステム株式会社	10,417	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	6,099	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,639	1.74
井上恵久	4,404	1.36
サイバネットシステム社員持株会	3,834	1.18
井口忠之	2,430	0.75
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	2,310	0.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,108	0.65

所有者別株式分布状況

	株主数(名)	持株数(株)	株主数比率(%)
個人その他	8,754	98,216	98.31
外国法人等	65	26,769	0.73
その他国内法人	38	169,225	0.43
金融機関	24	17,900	0.27
証券会社	22	1,473	0.25
自己名義株式	1	10,417	0.01
合計	8,904	324,000	100.00

株主メモ

事業年度
4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会
毎年6月
基準日
定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日

株主名簿管理人
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社 本店

同事務取扱所
(郵便物発送先・電話お問合せ先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

同取次所
中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

公告方法
電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL <http://www.cybernet.co.jp/>